



ためにこれを用いたい。もちろん、生徒にすべてを任せることは難しいので、教師が適宜アドバイスを与え、より本質的な理解を援助することが必要である。

### 3. 授業展開―「アラブ人ってどんな人？」―

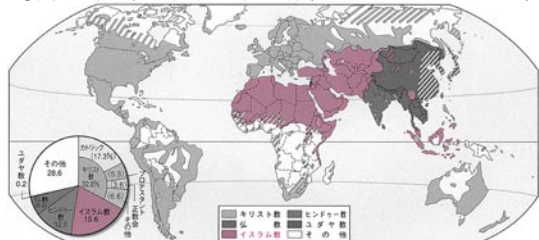
【導入1：おもな問いの提示、仮説の提示】・アラブ人とはどのような人々か？ どこに住む人々か？ そのイメージは？（既存のイメージを確認）

【展開1：白地図作業を通した仮説の検証】〈仮説①〉アラブ地域に住む人…地図上には「アラブ地域」という表記は存在せず。〈仮説②〉イスラム教を信じる人々…教科書p.88を参考に、白地図に記入。その際、該当する国名も調べて書き込む。以下同。〈仮説③〉アラビア語を話す人々（＝正解）…教科書p.86を参考に白地図に記入。

〈仮説④〉「アラブ人」という人種…存在せず。仮説③の該当地域に住む人種を地図帳などの人種分布図<sup>2</sup>を参考に白地図に記入。

【展開2：アラブ人の定義】・仮説③「アラビア語を話す人々」が「アラブ人」である（おもに西アジア・北アフリカに国を越えて分布）。それぞれ、仮説②と仮説④はどの地域で異なるのか、挙げてみよう（イスラム教徒は西アジア・北アフリカ以外にも分布。アラビア語を話す人々はほとんどイスラム教徒。「アラブ人」にはコーカソイドが多いが、他にもネグロイド、混血のコーカソイド・ネグロイドも）。

▼①世界の宗教分布と宗教別人口（1998年）（Diercke Weltatlas 1992. ほか）



「高校生の地理A 最新版」p.88

【展開3：アラブ文化】・アラブの人々はどのような暮らしをしているのだろうか？ 〈仮説①〉基本的な生活習慣（例：衣・食・住や「五行」など） 〈仮説②〉社会制度（例：結婚は単なる「契約」とみなされ、離婚も少なくない。親が離婚した場合の子への財産の配分などもイスラム法で詳しく決められている。） 〈仮説③〉：価値観・人間観（例：もともとは遊牧民のため「定住」より「移動」を好む、自然の厳しさから労働に合理性は求めない、他の民族や人種への寛容性、など。）

・なぜこのような文化が生まれたのだろうか。写真からわかる地形や気候から考えよう。

【終結：アラブ世界の文化的・地理的背景】・なぜアラブ人は国や人種を超えて同じ文化を共有しているのだろうか？…アラビア語はイスラム教の聖典コーランの言語である。言語を共有するということは同時に宗教も共有していることであり、イスラム教独特の生活習慣や社会制度、価値観なども共有している。アラブの民は厳しい自然環境の中で生きているが、イスラム教はその中での人間の弱さ・小ささを自覚し、細かく決まりを定め相互に助け合う社会のしくみを作り出した。民族とは、そのような共通の文化を有している人々が、自分の居場所と感じている（帰属意識を持つ）人人の集団のことである。

【発展学習：民族の定義の応用】・私たちが「日本人」という場合、どのようなイメージを持っているだろうか？「日本人」とは民族か、人種か、それとも国籍だろうか。クラスで話し合い、そのイメージを確かめてみよう。

1 この点については、片倉もとこ『アラビア・ノート』（筑摩書房、2002）が非常に参考になる。記述された時期は少し古いですが、アラブの生活や考え方が生き生きと書かれている。

2 『新詳高等地図 最新版』p.117～118 「④人種」などを参照。